

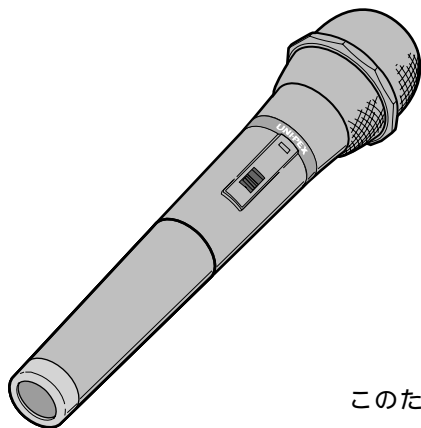
# UNI-PEX

## 取扱説明書

800MHz帯・スピーチタイプ

# ワイヤレスマイク

## WM-8000



このたびは、ワイヤレスマイクをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



、記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 分解 / 改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



分解  
禁止

#### 航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたす恐れがあります。



#### 医用電気機器に近づけない(手術室、集中治療室、CCU\*等には持ち込まない)

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。  
\*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。



禁止

#### 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



禁止



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 電池は極性(プラス+とマイナス-)を正しく入れる

間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。



# 上手な使いかた

## 取り扱い上のお願ひ

### 技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

### 違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

### 取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当たったりしないでください。

### マイク本体に水は禁物

水に濡れた場合はすぐに電源スイッチを切り、乾いた布で拭いてください。

## 使用上のお願ひ

### マイクと口との距離

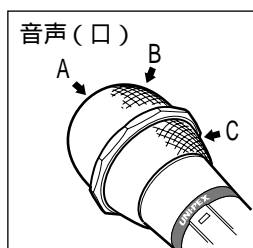
マイクは口から5~10 cm離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を再生します。また、マイクを口に近づけると低音が強調されます。

### ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカーの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしぼるか、マイクの使用位置を移動してください。

### マイクの方向性

本機は、単一指向性マイクのため、A の方向の音声には感度がよく、B C の方向はA の方向に比べ感度が1/2~1/5になります。よい音質で感度よく使用するためには、音声(口)が前面 A の方向にくるようにしてください。



### 乾電池は正しく使う

使いかたを誤ると、電池の液漏れで機器が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱、火の中への投入はやめてください。

### 放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

### 使用後は

電源スイッチを切ってください。また、長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。

### 強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけるとノイズが発生します。

### 雑音が入るときは

- ・ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2~10 mが適当です。ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
- ・受信機やワイヤレスアンテナはデジタル機器や高周波雑音のでる機器などから、できるだけ離して設置してください。(5 m以上)

### マイクどうしは、50 cm以上離して使用する

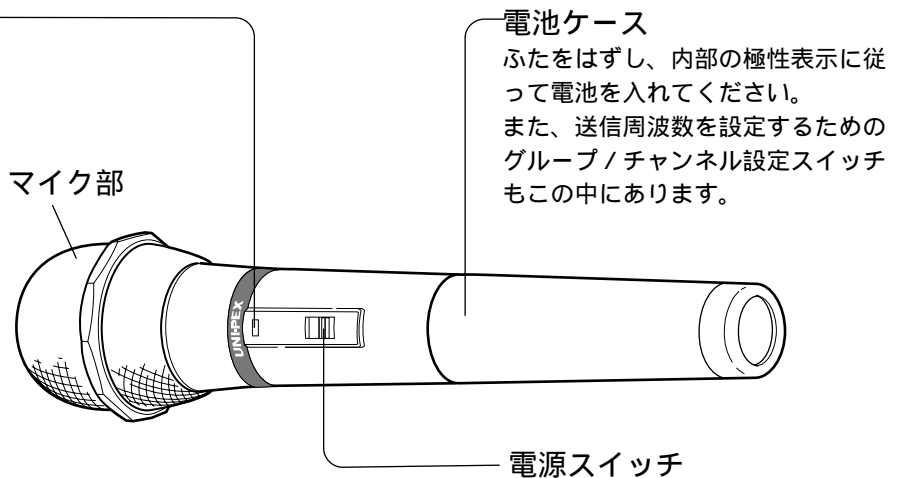
- ・2本以上を50cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
- ・金属などが、使用しているマイクの前面ネットに接触すると、雑音が発生する場合があります。

# 各部の名称と説明

## 電源表示灯（赤）

電源スイッチを入れますと点灯します。

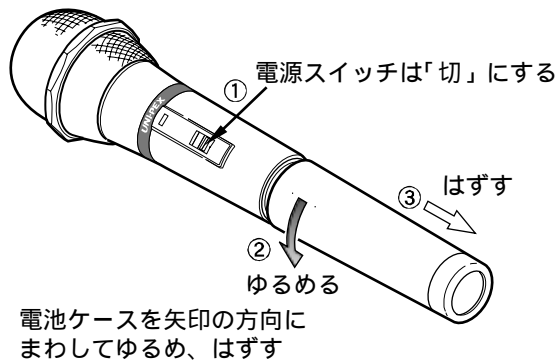
- ・電源表示灯が遅い点滅または消灯する場合は、使用している乾電池が消耗しています。新品の乾電池に交換してください。
- ・電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(4ページの周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。電源を切り再度周波数設定をしてください。



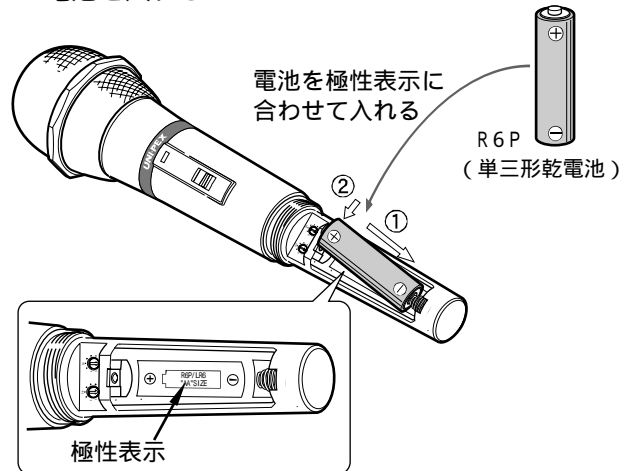
## 乾電池の入れ方

お願い  
電池を交換または、入れるときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

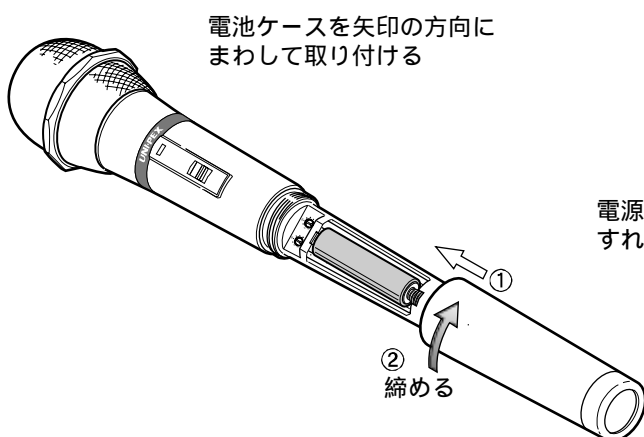
### 1. 電池ケースをはずす



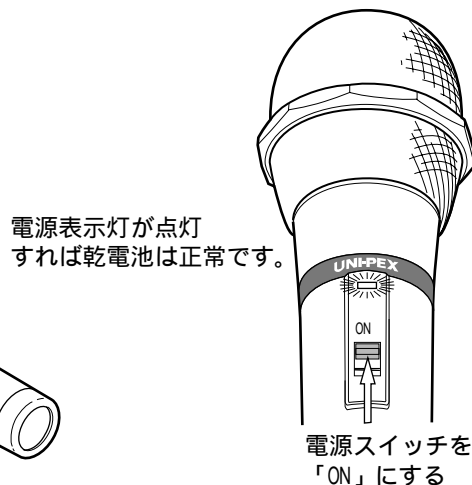
### 2. 電池を入れる



### 3. 電池ケースを閉める



### 4. 電源スイッチを入れ乾電池の確認をする



# 周波数の設定について

マイクと受信機(チューナーユニット)は、同じ周波数に設定してください。

同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください。[同グループ、異チャンネル]

(周波数一覧表を参照)

## グループについて

同じ場所で複数のマイクを同時に使用するときは、1つのグループに統一して使用します。

学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとにグループを割り振ります。

- ・グループ 1~4 .....最大6波まで。
- ・グループ 5 .....5波まで。
- ・グループ 6 .....1波まで。
- ・グループ 7 .....7波まで。ただし、隣接した部屋で他のグループのマイクは使えません。

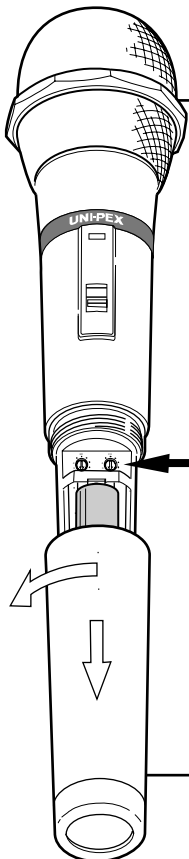
15波同時使用の組み合わせは、グループ 1~6の中から選定された周波数で構成されています。

設定方法については、7ページの「多チャンネル運用について」をご参照ください。

周波数一覧表

受信周波数(0.125MHz間隔、30波)							
周波数(MHz)	グループ(下桁目)・チャンネル(下桁目)						
	1	2	3	4	5	6	7
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

## チャンネル呼称について

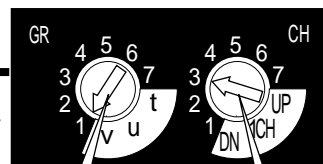


### 例

- ・グループ番号 1 B 1 3
- ・チャンネル番号 3

- (a) .....800MHz帯を表わす
- (b) .....グループ(GR)番号を表わす
- (c) .....グループ内のチャンネル(CH)番号を表わす

電池ケース内のグループ/チャンネル設定スイッチ



B13(807.125MHz)のスイッチ位置

グループ設定スイッチ (設定位置は1~7)

チャンネル設定スイッチ (設定位置は1~7)

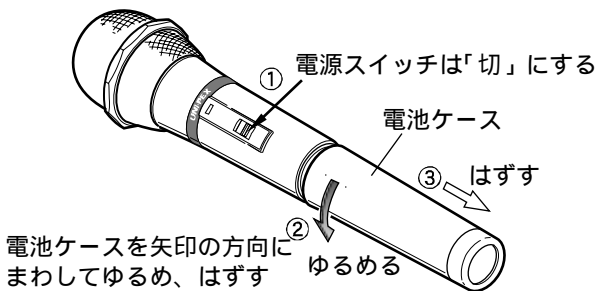
# 周波数の設定のしかた

## 周波数の設定

お願い  
周波数を設定するときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

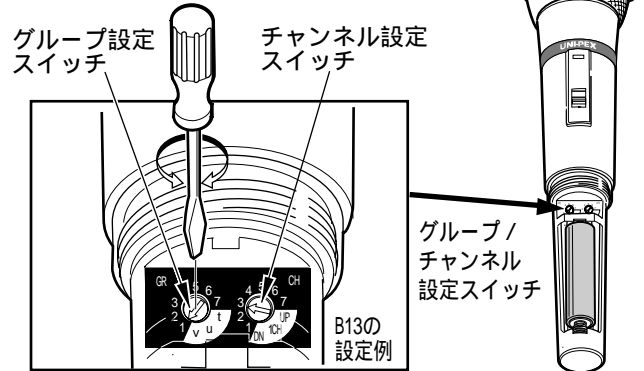
### 1. 電池ケースをはずす

電池ケースをはずしますと内部にグループ/チャンネル設定スイッチがあります。電源スイッチを必ず「切」にしてから、電池ケースをはずしてください。

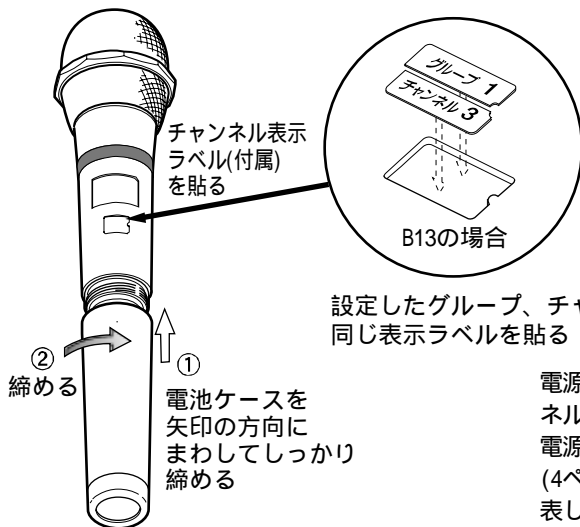


### 2. グループ/チャンネルを設定する

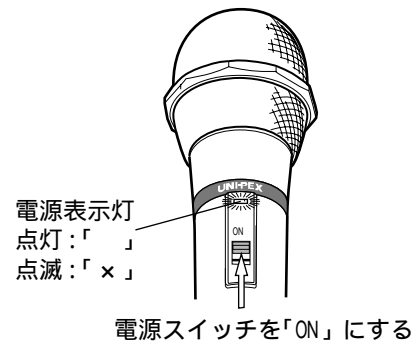
ドライバー (付属) でグループ/チャンネルの設定をする



### 3. 電池ケースを閉める



### 4. 電源スイッチを入れ、設定を確認する

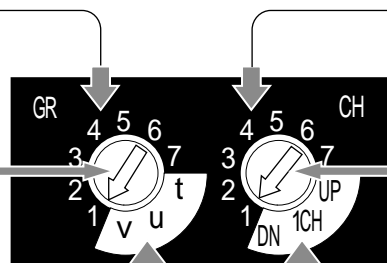


電源スイッチを入れ、電源表示灯が点灯すれば設定したグループ/チャンネルは正常です。電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(4ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。電源スイッチを切り再度周波数設定をしてください。

## 設定のしかた

グループ設定番号「1~7」  
グループ番号を1~7の範囲内で設定してください。「t/u/v」位置には設定しないでください。

グループ設定スイッチ



チャンネル設定番号「1~7」  
チャンネル番号を1~7の範囲内で設定してください。「UP/1CH/DN」位置には設定しないでください。

チャンネル設定スイッチ

電池ケース内のグループ/チャンネル設定スイッチ

受信機適合設定位置「t/u/v」  
初期設定は「u」です。ユニベックス社製受信機を使用の場合は設定の必要はありません。本機にユニベックス社製以外の受信機を使用すると、音質が悪くなるなど適合しないことがあります。そのような場合は6ページの「本機が受信機に適合しないとき」をご覧ください。

セカンドチャンネル設定位置「UP/1CH/DN」  
初期設定は「1CH」です。本機をひとつの送信周波数で使用する場合は設定の必要はありません。ワンタッチで特定のチャンネルに切り換えて使用する場合は、6ページの「セカンドチャンネル設定について」をご覧ください。

# セカンド（副）チャンネル設定について

本機は設定したグループ/チャンネルの他に、セカンド（副）チャンネルをワンタッチ切り換えで使用することができます。副チャンネルを使用される場合は、次の要領で設定をおこなってください。

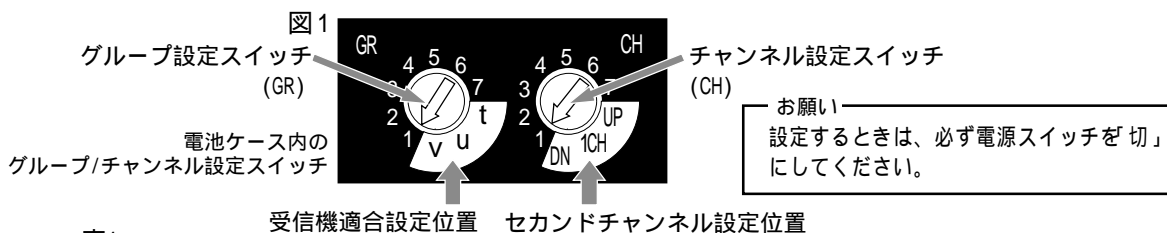


表1

設定位置(GR)	設定位置(CH)	グループ/チャンネルを「B12」に設定した時の例
u	UP	「B12」で送信、電源スイッチを切にしてから0.5秒以内に入にすると「B13」で送信
u	1CH	初期設定 「B12」のみで送信
u	DN	「B12」で送信、電源スイッチを切にしてから0.5秒以内に入にすると「B11」で送信

電源スイッチを0.5秒以上切にすると元の送信周波数「B12」にもどります。

- ・本機の電源スイッチを「切」にして、電池ケースのふたをはずす。(5ページの周波数の設定参照)
- ・チャンネル設定スイッチをドライバー(付属)で「UP」または「DN」の設定位置に合わせる。(図1、表1参照)
- ・初期設定は「1CH」です。本機を1つの送信周波数で使用するときの設定です。
- ・「UP」に設定した場合は、電源スイッチを「入」の状態から「切」にして0.5秒以内に「入」にしますと設定したチャンネルよりひとつ上のチャンネル<sup>注1</sup>(例：B12設定時はB13)に切り換わります。また「DN」に設定した場合は、ひとつ下のチャンネル<sup>注2</sup>(例：B12設定時はB11)に切り換わります。再びもとの送信周波数に戻す場合は電源スイッチを0.5秒以上「切」にし、「入」にしてください。
- ・グループ設定スイッチをドライバー(付属)で「u」位置に合わせる。
- ・本機の電源スイッチを0.5秒以上「入」にした後、再び「切」にしますと設定完了です。
- ・グループ/チャンネル設定スイッチを元の位置に設定し、電池ケースのふたを閉める。

ご注意 グループ/チャンネル設定スイッチは必ず元の位置(1~7)に戻すか、正しく設定してください。ただし、グループ6に設定しますと、副チャンネル切替時に送信できませんのでご注意ください。

## 本機が受信機に適合しないとき

本機にユニベックス社製以外の受信機を使用すると、音質が悪くなるなど適合しないことがあります。そのような場合は次の要領で設定をおこないますと、音質不良などを改善できる場合があります。

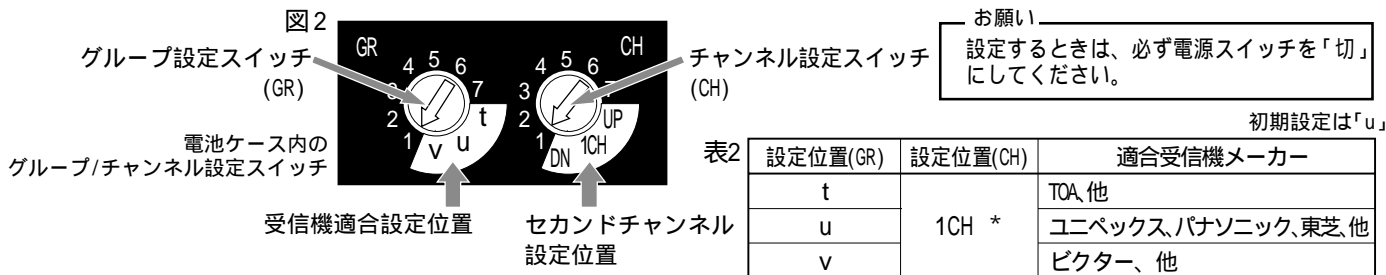


表2

設定位置(GR)	設定位置(CH)	適合受信機メーカー
t	1CH *	TOA、他
u		ユニベックス、パナソニック、東芝、他
v		ビクター、他

注) 適合受信機メーカーは当社独自の調査によるものです。  
\* 副チャンネルを使用するときは「セカンドチャンネル設定について」をご覧ください。

## 受信機適合設定のしかた

- ・本機の電源スイッチを「切」にして、電池ケースのふたをはずす。(5ページの周波数の設定参照)
- ・グループ設定スイッチをドライバー(付属)で「t」または「v」のいずれかに合わせる。(図2、表2参照)
- ・チャンネル設定スイッチをドライバー(付属)で「1CH」に設定します。(副チャンネルを使用するときは「セカンドチャンネル設定について」参照)
- ・本機の電源スイッチを0.5秒以上「入」にした後、再び「切」にしますと設定完了です。
- ・グループ/チャンネル設定スイッチを元の位置に設定し、電池ケースのふたを閉める。
- ・本機の電源スイッチを「入」にし、受信機に適合するかテストをおこなう。
- ・受信機に適合しないときは、販売店などにご相談ください。

ご注意 グループ/チャンネル設定スイッチは必ず元の位置(1~7)に戻すか、正しく設定してください。

# 多チャンネル運用について

## 15波同時使用対応機種

15波同時使用には、送信機・受信機・アンテナ・分配器がそれぞれ15波同時使用対応機種である必要があります。

対応機種(2003年5月現在のものです)

- ・ワイヤレス送信機 WM-8030A, WM-8130A, WM-8240, WM-8330A,  
WM-8000, WM-8100
- ・ワイヤレス受信機 WTD-8121, 8141
- ・分配器 DWD-8240
- ・ワイヤレスアンテナ AA-800シリーズ, AA-C800シリーズ

表3

15波用白グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B11	806.125
2	B12	806.375
3	B31	806.625
4	B32	806.875
5	B13	807.125
6	B33	807.375
7	B51	807.625
8	B24	807.875
9	B52	808.125
10	B53	808.375
11	B35	808.625
12	B26	808.875
13	B44	809.125
14	B45	809.375
15	B55	809.625

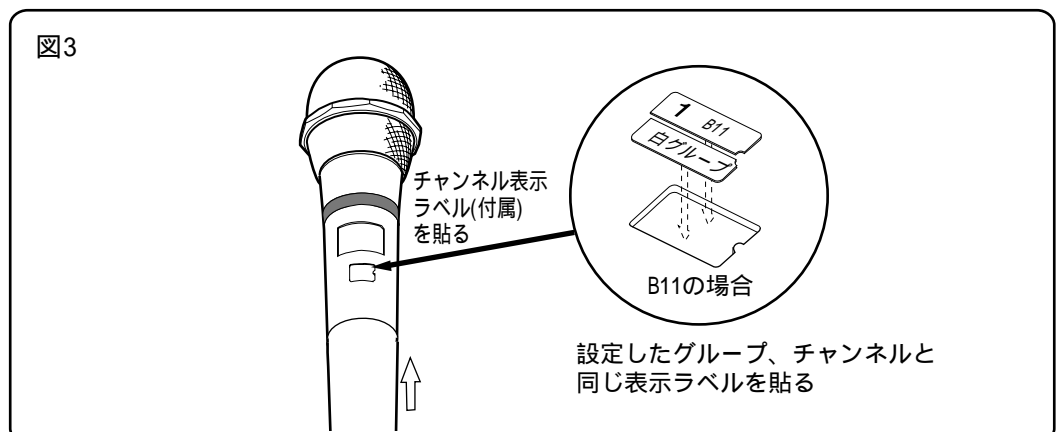
15波用青グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B21	806.250
2	B22	806.500
3	B41	806.750
4	B23	807.000
5	B61	807.250
6	B42	807.500
7	B14	807.750
8	B43	808.000
9	B34	808.250
10	B25	808.500
11	B54	808.750
12	B15	809.000
13	B36	809.250
14	B16	809.500
15	B46	809.750

## チャンネルの設定

15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。(表3参照)

同時に使用するマイクは、同グループ(表3の白または青)・異チャンネルにしてください。ただし、隣接した部屋でほかのグループのマイクは使えません。

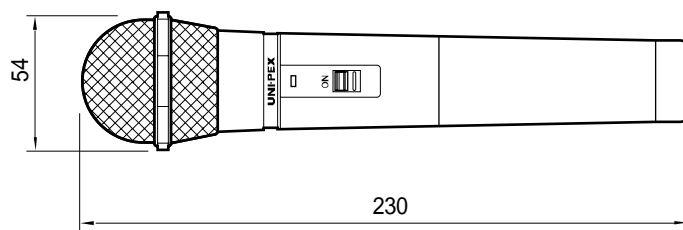
チャンネル表示ラベルを貼るとチャンネルを区別しやすくなります。(図3参照)



# 定格

電 波 形 式	F3E
送 信 周 波 数	806.125MHz ~ 809.750MHz (125kHz間隔,30波)
発 振 方 式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変 調 方 式	リアクタンス変調方式
空 中 線 電 力	2 mW
ア ン テ ナ	内蔵アンテナ
変 調 感 度	±5 kHzFM (92 dBSPPL 1kHzにて)
使 用 マ イ ク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
周 波 数 特 性	100 Hz ~ 10 kHz (1 kHz基準 50 μs エンファシス)
最 大 入 力 音 圧	126 dB SPL
入 力 等 価 雑 音	36 dBSPPL以下 (Aカーブ)
使 用 電 池	R 6 P(単三形)乾電池 × 1
消 費 電 流	45 mA (1.5Vにて)
電 池 寿 命	約14時間 (常温連続使用にて)
使 用 温 度 範 囲	0° C ~ +40° C
寸 法	54(最大径) × 230(長さ) mm
質 量	約180 g (乾電池含む)
外 装	ストーンシルバー色樹脂 (マンセルN4.5近似色)
付 属 品	取扱説明書 1、保証書 1、チャンネル設定用ドライバー1、 R 6 P(単三形)乾電池 1、マイクホルダー 1、ソフトケース 1、チャンネル表示ラベル1

# 外観寸法図 (単位: mm)



## 連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。  
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

品 名 品 番 お買い上げ日 故障の状況 (できるだけ具体的にお願います)

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811 札幌市中央区南11条西 10-2-17	TEL.(011)511-5505(代) FAX.(011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025 釧路市宝町 3-8	TEL.(0154)25-3156(代) FAX.(0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015 仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL.(022)232-1295(代) FAX.(022)232-1297
東京営業所	〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-17	TEL.(03)3821-3721(代) FAX.(03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922 新潟市山二ツ 4-6-19	TEL.(025)287-3611(代) FAX.(025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362 金沢市古府 1-190	TEL.(076)240-4577(代) FAX.(076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037 静岡市下島 152-5	TEL.(054)238-1446(代) FAX.(054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051 名古屋市中区御器所 1-3-29	TEL.(052)871-1671(代) FAX.(052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL.(06)6632-2855(代) FAX.(06)6644-1624
岡山エリア連絡先		TEL.(086)244-2317(代) FAX.(086)244-4461
高松営業所	〒760-0079 高松市松縄町 525-1-203	TEL.(087)868-1181(代) FAX.(087)868-1331
広島営業所	〒730-0016 広島市中区鞆町 5-29	TEL.(082)222-5511(代) FAX.(082)222-5513
福岡営業所	〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL.(092)721-5000(代) FAX.(092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島市上之園町 8-12	TEL.(099)250-0220(代) FAX.(099)257-3327

**ユニペックス株式会社**

本社/営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6  
お客様相談窓口 (CS課) TEL.(072)855-3334